



第2期 北九州市まち・ひと・しごと創生 総合戦略

成案

令和2年4月

北九州市

目 次

はじめに	P 1
第 1 章 人口の現状と将来展望	P 2
1 人口の現状	P 2
2 人口の将来傾向と展望	P15
第 2 章 第 2 期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	P17
1 基本的考え方	P17
(1) 第 2 期総合戦略策定の経緯	P17
(2) 第 1 期総合戦略の総括（成果と課題）	P18
(3) まちの現状と将来（地域特性と課題）	P22
(4) 第 2 期総合戦略の方向性	P23
(5) 第 2 期総合戦略の位置づけと政策 5 原則の実現等	P24
(6) 第 2 期総合戦略の期間	P24
2 策定の概要・体系図	P25
3 基本目標・基本的方向及び具体的な施策	P29
I 北九州市に魅力あるしごとをつくり、安心して働けるようにする	P29
II 北九州市への新しいひとの流れをつくる	P36
III 女性の活躍を推進し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	P40
IV 時代に合った魅力的な住みよいまちをつくる	P44
V 地方創生推進のための国の施策への対応 （特区・税制・政府関係機関誘致など）	P50
4 推進体制	P51
(1) 本市の推進体制	P51
(2) P D C A の確立	P51
参考 総合戦略策定における経緯	P52

はじめに

本市では、平成 27（2015）年度に「第 1 期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、地方創生の『成功モデル都市』を目指す」という基本方針のもと、同年度から令和元年度の 5 か年にかけて、「オール北九州」の力を結集して、多岐にわたる地方創生の取組を進めてきました。

これまでの間、北九州スタジアムが完成し、サッカーをはじめ多くのスポーツイベントが開催されました。特に、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会におけるウェールズ代表チームの公開練習での盛り上がりは、記憶に新しいところです。また、音楽イベントも開催され、北九州スタジアムのポテンシャルの高さを実感しました。

さらに、多くの若者が集まるファッションショーの開催、映画・テレビのロケ誘致、シニア世代の住みやすさや子育て環境でのランキングでの高い評価など、「北九州市」を様々な場面で感じるが多くなりました。

地方創生の取組を開始し、まちのにぎわいづくりや住みよいまちづくりの推進に加え、地元就職の促進や定住・移住関連の取組、企業誘致などに取り組んだことにより、社会動態は改善傾向にあります。が、いまだ転出超過となっており、特に若者の定着は課題であります。

そのため、地方創生の取組をさらに推進することで、本市の社会動態をプラスにするべく、この度、第 2 期（令和 2（2020）年度～令和 6（2024）年度）の総合戦略を策定しました。

第 2 期総合戦略の策定にあたっては、第 1 期の取組を振り返りつつ、本市の人口動態の現状、まちの変化、社会情勢等を踏まえ、時流に沿った内容にすることを心掛けました。

本市が実施したアンケートによると、若者が就職先を選ぶにあたっては、「給料」や「福利厚生」に加え、「ワークライフバランス」などを重視する傾向にあることから、若者の定着に向けて、それぞれがその役割を認識し、何ができるのかを考えるきっかけとなれば幸いです。

自分のまちに「誇り」を持ち、誰もが「住みたい」と感じるまち、そんな「北九州市」になることを目指して、第 2 期の地方創生に市民の皆様とともに取り組んでまいります。

令和 2（2020）年 4 月

北 九 州 市